

第7回全国高校教育模擬国連大会に参加しました

8月2日の校内模擬国連体験会を経て、8月6,7日に6組12名の生徒が全国大会に出場しました。全国高校教育模擬国連大会（通称AJEMUN）は「高校生による 高校生のための模擬国連大会」を合言葉に、毎年全国47都道府県から高校生約600名が挑戦する、2日間にわたる本格的な模擬国連大会です。今年度は、「教育」をテーマに「すべての子供が初等・中等教育を受けられる世界」「教育の質の向上」を目指して白熱した議論が交わされました。厚高からの参加生徒は全員が初挑戦でしたが、それぞれの議場で果敢に議論の輪に飛び込んでいました！



ここからは、それぞれの議場参加ペアからの感想をご紹介します！

A 議場 インドネシア大使



・模擬国連に参加することで、リサーチ力、英語力（リサーチの際に英語で検索し、英語の文書を読みました）、交渉力、発言力などが身につくと思いました。また、自分が置かれている状況と違う状況下にある国を担当することで、世界の状況をより知ることができました。

・他国の大使も一生懸命国について調べている。自国の意見を固くもって会議に臨まないと流されてしまうので、気をつけないと！国によって政策が違うので、会議で大使の意見を聞いていて楽しい。インドネシアについて詳しく知ることができました。

B 議場 バングラデシュ大使



・今回の会議で、私達は被支援国として参加しました。終始経験豊富な大使の皆さんの迫力に圧倒されてしまいました。参考になる部分は沢山あったので、これからの活動に活かしたいと思っています。

・会議が始まった瞬間、それまであった和やかな雰囲気が一転して全ての大使がスピーチに耳を傾け始めました。また、大使どうしが自由に話し合う時間になると、至る所から「集まりましょう」「まず前提条件を確認しましょう」等の声が飛び交い、ここが模擬国連なのだという意識が強く芽生えました。模擬と言っても各国の大使の表情や態度は真剣そのもので、いかにして問題を解決し、かつ国益を確保するかを全員が考え、意見をぶつけていました。

・今回、ブラジルという国を担当し、模擬国連の難しさを実感することができた。自国だけでなく他国の状況も考慮しないとならない上、統率力や協調性も見せる必要があり、実際の国連と同義なのだということを切に感じた。

・2日間を共に過ごしたのは、自分とは全く違う故郷で全く違う道を歩んできた同世代の子たちで、私の世界観をガラッと変え、新しい世界にワクワクさせてくれました。同世代とは思えないほどの状況把握力の高さや知識の豊富さに何度も何度も圧倒されました。楽しい刺激がすし詰めの日間でした！！

C 議場 ブラジル大使



・ロシアという国を担当する上で、ただ自国の案を推し進めるのではなく、他国の意見を取り入れつつ、全員が納得できるように話し合っていくことの難しさを感じ、改めてこの様な話し合いの重要性を感じました。

・どんどんいろんな国が関わってきて話が広がるほどしっかり話の流れを理解して、今どうなっているかを確認することが大事になってくると感じました。また、事前のリサーチも大切だけど当日のように動くかがポイントだと思いました。今回初めての参加で色々戸惑い、足りないこともあったけどすべてがこれからの役に立つとてもいい経験ができました。鳥取県の高校の人とも知り合えたのしかったです！

D 議場 ロシア大使



E 議場 南アフリカ大使



・普段だったら中々調べない、南アフリカ・世界において教育の面でどのような課題があるのかを知るいい機会になりました。今回始めて模擬国連に参加してみて、自分たちの要望をいかに多くの国の大使に共感してもらい、DRに取り入れてもらうか、様々な問題を抱えている国同士で話し合うのは難しいと感じました。「教育」に関する各国の課題はその国だけの問題ではなく、国際機関との協力が鍵になると思うので、今後も関心を持ち続けながら自らの学びを深めていきたいです。

・自分たちが議題について調べたことや考えたことを伝えるだけでなく、他国と上手く交渉してDRに載せることがとても難しかったです。また、大会前に考え、準備していた流れや発言などをそのまま通すことがほとんどできなかったため、全体的に臨機応変に対応していく必要があり、とても大変でした。でも、他国にどうアピールしたら自分たちの考えをできるだけ妥協せず通すことができるかを考えながら話し、全体の状況や流れを把握して1つのDRまとめるというなかなかできない経験ができてとても良かったです。

F 議場 ハンガリー大使

・私は、今回が初めての参加でした。開会式での国連で働く方からのスピーチで、「国連は万能ではないけど、無能でもない」と仰っていて、このことを自覚した上で、より良い世界について私たちが考えていくことの重要性みたいなものを少し実感できました。いよいよ会議が始まり、他国の大使と白熱した議論を進めていく中で、国連というものの複雑さや難しさ、面白さなどなど、たくさんのことに気付くことができ、幸せな2日間でした。

・初めての模擬国連で緊張したけれど、いざ出てみるといろんな人と話すことができ楽しかった。準備がとても大変だったけれど、その分スピーチを自信を持って行うことができた。グループを作る時も、かなり積極的に話しかけることができて嬉しかった。議論の中で、やっぱり自国の意見で通らない部分などがあって、議論の難しさが分かったが、勉強になった。



2日間、お疲れ様でした。とてもいい経験になったようですね！

今回の大会参加を皮切りに、これからも模擬国連活動がんばっていきましょう！